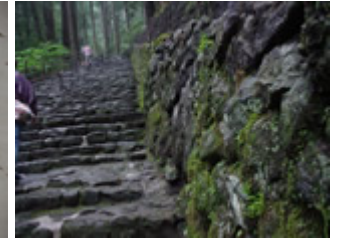


南方熊楠 Kumagusu Minakata  
 A Study of His Descriptions of  
**夢**の記述に関する研究  
 —「やりあて」と関連させながら—  
**Dreams**



書簡

日記1へ

日記2へ

論考へ

目次へ

年 月 日 [曜日]	年齢	宛先	夢に言及	夢に類似した事例に言及	やりあてに言及	全集巻数	備考
1892年(明治25年)							
1892年8月?日	26	中松盛雄	○			7巻 p.130	<a href="#">夢国、夢影、夢事、夢魂、</a> <a href="#">熊公は、夢中夢を詠く痴人、夢のような人物なるかな</a>
1893年(明治26年)							
1893年12月11日[月]	27	土宜法龍	○			高山寺資料 pp.30-31、38-39、54	<a href="#">父の夢／毎夜亡父を夢に…／鳥羽玉の夢中／夢に驚はるる</a>
1893年12月19日[火]	27	土宜法龍	●			7巻 p.136	宿りしとき妻の夢にこれを知れり。
1893年12月21~24日	27	土宜法龍	○			7巻 pp.142-145	<a href="#">小生は多年間夢のことを研究す…夢の記憶法</a> <a href="#">和歌山旧宅の夢／父の夢／波木井氏の夢／「事の学」</a>
1894年(明治27年)							
1894年1月19日	28	土宜法龍	○			高山寺資料 p.104	<a href="#">失行失言より時々夢に感じ</a>
1894年3月4日[土]	28	土宜法龍	●			7巻 p.224	隠者、救命池において…右のごとき夢を見…
日付なし	?	土宜法龍		○	○	7巻 p.237	<a href="#">父死服して坐すと見て、はや父は死せり</a>
1894年3月19日[日]	28	土宜法龍	●			7巻 p.254	自分の夢を正として…
1894年3月20日[月]	28	土宜法龍			●	7巻 p.296	<a href="#">…スウェズンボールグの言と符号せり…</a>
1894年7月16日[月]	28	土宜法龍	○		○	高山寺資料 pp.194-195	<a href="#">父死ぬるときに夢に見る</a>
1902年(明治35年)							

1902年3月22日[土]	36	土宜法龍	●			7巻 p.319 夢や『山海経』の図で、眼が一つの人…
1902年3月23日[日]	36	土宜法龍	○			高山寺資料 p.254 …夢見又は熱病中に現る如く…
1902年3月25日[火]	36	土宜法龍	●			高山寺資料 p.264 …当時の現況をそのまま夢に見ることさえあり、
1902年3月26日[水](推定)	36	土宜法龍			●	高山寺資料 p.277 テレパシー…は今後望みあり…
1902年4月2日[水]	36	土宜法龍	●			熊楠研究 7 p.168 大天が夢に魔と交わり…夢に天女と交わり…
1902年4月2日[水]	36	小畔四郎			○	小畔四郎(1) p.22 …虫のしらせにや、何んとなく…
1903年(明治36年)						
1903年6月30日[火]	37	土宜法龍	○			7巻 p.335 …(起きよ)の声に、夢破られ…
1903年7月18日[土]	37	土宜法龍	○		○	7巻 pp.367-371 南方曼陀羅 / tact / 「やりあて」 / 夢の告げ ピソフォラの発見、クラテレルスの発見
1903年8月20日[木]	37	土宜法龍	○			7巻 p.418, 433 夢中に人をすくわん / 夢中に空間なし。
1904年(明治37年)						
1904年1月22日[金]	38	土宜法龍	○			熊楠研究 7 p.172 水の音風の声耳に入る度に…、又色々な夢などになる
1904年3月24日[木]	38	土宜法龍	○	○	○	7巻 p.461, 466-467 プロムネシア / 夢に靈魂のこと / ナギランの発見
1904年3月31日[木]	38	小畔四郎	○		○	小畔四郎(1) pp.44-46 ナギランの発見 / ピソフォラの発見 / カストロマの発見
1904年6月21日[火]	38	土宜法龍	●	○	●	和歌山市立博物館研究紀要 25号 pp.66-69 魂遊といふことあり / マイヤーズに言及 / テレパシー
1911年(明治44年)						
1911年4月22日[土]	45	柳田国男	●			8巻 p.18 獵師一睡の夢に神現し…
1911年6月18日[日]	45	柳田国男			○	8巻 p.48 ふと虫のしらせにや…
1911年9月27日[水]	45	柳田国男	●			8巻 p.101 …夢に種々雑多の原因あるごとく…
1911年9月28~29日[金]	45	柳田国男		●	●	8巻 pp.117-118 セレンジピチー / 幽霊
1911年10月13日[金]	45	柳田国男	○			8巻 p.174 小生夢を見て…分析する法を考え出し、
1911年10月17日[火]	45	柳田国男	●	●	●	8巻 p.197, 198 ヘンリー・パークス…亡父あらわれ… / 予言 / 夢
1911年10月25日[水]	45	柳田国男			●	8巻 p.220 東洋のことに tact まことに多し…

1911年12月1日[金]	45	柳田国男	○			8巻 p.254	故郷は旅寝の夢に見えもせず、
1911年12月18日[月]	45	柳田国男	●			8巻 p.263	この木を悪しき夢を見たとき…
1912年(明治45年)							
1912年2月9日[金]	46	白井光太郎	●			7巻 p.551	古来神殿に宿して悪夢を感じしといひい…
1912年2月11日[日]	46	柳田国男		○		8巻 pp.273-274	<a href="#">無言で小生の前へ出て来る、日記に…／wraith</a>
1912年2月17日[土]	46	高木敏雄	●		○	熊楠研究 5 p.252	<a href="#">橋より落ちる夢／偶合と伝来とを判然と証する事…</a>
1912年5月23日[木]	46	高木敏雄	●	●	○	8巻 p.539、542、545	橋より落ちる夢、歯抜ける夢、 <a href="#">以心伝心</a> <a href="#">心の到らざるところ、誰かこれ夢みん</a>
1913年(大正2年)							
1913年1月24日[金]	47	柳田国男			○	8巻 p.362	<a href="#">奇態千万にも…小生は最初より知りおり、</a>
1913年12月14日[日]	47	柳田国男			○	8巻 p.381、383	<a href="#">小生へんなことと思ひ…右の二人の末妹なり。</a>
1914年(大正3年)							
1914年7月20日[月]	48	柳田国男			○	8巻 p.450	<a href="#">小生、人を恨んで…まもなくその人死に…</a>
1914年11月30日[月]	48	柳田国男		○		8巻 p.473	熊楠いわく、幽霊…たしかに覚えるを得ず。
1916年(大正5年)							
月日不明	50	六鷲保	○		○	9巻 p.423、429-430	<a href="#">夢の中に…混合／奇遇、偶合、不図見当たることも多し</a>
1924年(大正13年)							
1924年2月15日[金]	58	上松翁	●		●	別巻 1 p.95-96	<a href="#">蛇が小見に化けて夢に現れ珠を与える</a>
1925年(大正14年)							
1925年1月31日[土]	59	矢吹義夫	○	○	○	7巻 p.31-32	<a href="#">幽霊と幻覚／ナギランの発見</a> <a href="#">ステファノスヘーラの発見／ビトフォアの発見</a>
1925年3月22日[日]	59	毛利清雅			○	毛利清雅 p.143	<a href="#">亡父母兄弟…小生の妙法で霊を現はし小生と会話談笑し、</a>
1925年3月29日[日]	59	毛利清雅			○	毛利清雅 pp.149-150	<a href="#">小声又黙坐して…死霊があらはれ、霊験しはしば至る時、</a>

1925年9月21日[月]	59	上松蒔	○		別巻1 p.115	夢にいささか心腸を暢ぶる間もなく…
1925年12月3日[木]	59	上松蒔	●		別巻1 p.125	a dream with in a dream(夢の中なる夢)
1926年(大正15年)						
1926年2月23日[火]	60	平沼大三元	●	○	平沼大三元 p.29、31	<a href="#">孔子曰く…亡父を夢みたり…亡父の霊に上らんと。</a> <a href="#">…神通を以て未来のことを知りしやうにて頗る不思議也</a>
1926年4月28日[水]	60	三田村玄龍		○	熊楠研究6 p.205	<a href="#">御依頼の件は熊公神通力を發揮し予知のこととて…</a>
1926年10月26日[火]	60	平沼大三元	○	○	平沼大三元 p.282、283-284	<a href="#">…同時又殆ど同時にほぼ同様の思想趣向が諸処に発生する</a> <a href="#">莊子の…面白く夢みて…小生夢をあんまり見ぬが…</a>
1926年11月9日[火]	60	上松蒔		○	別巻1 p.131	<a href="#">…申し来たらぬうちに小生神通力にてこれを知り</a>
1927年(昭和2年)						
1928年6月7日[木]	61	三田村玄龍		○	別巻1 p.519	<a href="#">変態心理学に rapport と申すことあり。</a>
1928年(昭和3年)						
1928年6月7日[木]	62	上松蒔		○	上松蒔 p.88	<a href="#">所謂 telepathy の通ぜしものかと被存申候</a>
1929年(昭和4年)						
1929年1月1日[火]	63	上松蒔	○		別巻1 p.170	日光山中の夢、湯滝下の老婆等の夢
1929年1月1日[火]	63	平沼大三元		○	平沼大三元 p.341	<a href="#">月夜の如く明るくなり…真の闇なれば…(妹尾官林)</a>
1929年3月13日[水]	63	山田栄太郎	○	○	別巻1 p.322	<a href="#">令閨の二兄(羽山兄弟)を日中にも眼前に見ること多く、</a>
1929年4月15日[月]	63	山田栄太郎		○	9巻 p.469	<a href="#">欧米の心靈学者…ラジオが遠くへきくごとく…</a>
1929年4月30日[火]	63	上松蒔		?	9巻 p.484	<a href="#">祈念/「うまく行けばよいいなあ」くらいのことで</a>
1930年(昭和5年)						
1930年3月16日[日]	64	白井光太郎		○	○	9巻 pp.512-513 <a href="#">氷雪だらけの山路…キネマを見るごとく続出致し候</a> <a href="#">羽山第四男の死の予知/横顔のみ見えて黙しおる</a>
1931年(昭和6年)						

1931年8月20日[木]	65	岩田準一	○	○	○	9巻 pp.25-26、42-44	<a href="#">(故羽山兄弟が)いろいろのことを暗示…珍物を発見す。</a> <a href="#">『Human personality』に言及、『雲根志』／羽山四男の死の予知</a>
1931年2月12日[木]	65	上松蒔	●			上松蒔 p.148	夢に夢みるとは此事ならん。
1932年(昭和7年)							
1932年11月23日[水]	66	岩田準一	○			9巻 p.150	昨日熟眠中に夢にて思い出し候。
1933年(昭和8年)							
1933年2月10日[金]	67	岩田準一	●		●	9巻 p.177	<a href="#">明の洪武中…童子の塑像…夢のごとくなるを見る。</a>
1933年2月18日[土]	67	岩田準一	●		●	9巻 p.178	<a href="#">明の洪武中…童子の塑像…夢のごとくなるを見る。</a>
1933年12月14日[火]	67	岩田準一	●			9巻 p.208	鎮尚が夢に仏果を得たる由見る。
1934年(昭和9年)							
1934年1月15日[月]	68	岩田準一	●		●	9巻 p.227	<a href="#">夢見た通り、他の一美童の絵馬が傷ついていた</a>
1934年2月9日[金]	68	岩田準一	●		●	9巻 pp.234-235	<a href="#">神、夢に郷人に見われ…明年果たして名を成し…</a>
1934年3月12日[月]	68	岩田準一	●		●	9巻 p.243	<a href="#">睡夢の中にて、一の小児の…男児の小軀の内に在るあり。</a>
1934年5月20日[日]	68	上松蒔	●			別巻1 p.225	痴人が他人の夢を占うようなことと存じ候
1938年(昭和13年)							
1938年6月23日[木]	72	岩田準一			○	9巻 p.299	<a href="#">水銀を斜めに注下するとき幻像を生じ、電光ごとく閃くなり</a>
1939年(昭和14年)							
1939年3月10日[金]	73	水原堯栄			○	9巻 p.409、410	<a href="#">小生の実母が…活動写真のごとく今も眼前に見る。</a>
1939年11月8日[水]	73	岩田準一	●			9巻 p.308	里人に夢に託していう…果たして霊験響くがごとし。
1940年(昭和15年)							
1940年12月17日[火]	74	上松蒔	○			別巻1 p.305	拙児…夢におそわれたるなり。